

■安全上の注意 (キシラデコールコンゾラン・キシラデコールコンゾラン下塗り剤共通事項)

1. 使用保護具:保護手袋、保護眼鏡などを使用してください。作業後の保護具は洗ってください。
2. 下記の3~6について医師の手当てを受ける際は薬剤名、成分※(木材用防腐剤・防カビ剤・防虫剤)、症状、被ばく状況を教えてください。
3. 皮膚付着時:塗料が皮膚につくとかぶれることがありますので、付着の際は石鹸水で洗浄してください。衣服に付着した場合は直ちに着替えてください。かぶれた場合は医師の手当てを受けてください。
4. 目や口に入った時:多量の水で洗い、医師の手当てを受けてください。医師の手当てを受ける際は弱アルカリ性であることを教えてください。
5. 吸い込んだ時:新鮮な空気をあたえ、医師の手当てを受けてください。
6. 誤飲した時:直ちに吐き出させ医療処置を受けてください。
7. 環境への配慮:庭木、草花、金魚、鯉、蜜蜂、蚕、水生生物、愛玩動物などに被害を及ぼすおそれのある場所では使用しないでください。
8. 使用対象の制限:屋内木部、玩具、動物小屋、温室などの木材には使用しないでください。食品工場、飲食店など食品に臭気移るおそれがある場所での塗装は避けてください。
9. 取扱い禁止者:特異体質(アレルギー体質など)の人は作業しないでください。
10. 退避を要する人:病人、妊婦、乳幼児、特異体質(アレルギー体質など)の人は一時退避してください。
11. 作業後の注意:手洗い、うがいをしてください。作業衣も洗濯してください。
12. 使用器具類:専用のものとし、作業後は水と中性洗剤で洗ってください。

※キシラデコールコンゾラン下塗り剤の成分は、木材用防腐剤・防カビ剤です。

■取扱い上の注意 (キシラデコールコンゾラン・キシラデコールコンゾラン下塗り剤共通事項)

1. 廃棄の禁止(本剤及び洗浄液):下水、河川、池、湖沼、海、井戸、地下水などを汚染させるおそれのある場所へは廃棄しないでください。
2. 廃棄方法:空容器は他目的に使用せず産業廃棄物処理業者に依頼してください。また、塗装後に残った少量の塗料を廃棄する場合は、ポロ布や新聞紙などに吸収させて処分してください。なお、多量の場合は、産業廃棄物として、廃棄業者に依頼してください。
3. 漏洩時の処置:少量の場合は、ポロ布や新聞紙に吸収させて処分してください。多量の漏洩の場合は、流出の防止に努めてください。地下水汚染のおそれがある場合は、警察署・保健所などへ連絡してください。
4. 環境汚染:下水、河川、池、湖沼、海、井戸水、地下水などを汚染させるおそれのある場所で使用しないでください。
5. 家財汚染:塗装対象物以外にかからないようにしてください。
6. 食品、飼料汚染:食品、飼料などにかからないようにしてください。
7. 混合禁止:他の塗料、薬剤などと混合しないでください。
8. 水質汚濁防止法上の注意:薬液浸透施設を設置する場合は、都道府県知事に対し、“特定施設”の届出が必要です。

■保管・貯蔵上の注意 (キシラデコールコンゾラン・キシラデコールコンゾラン下塗り剤共通事項)

1. 場所:食品と区別して、幼児・子供の手の届かない所に保管してください。
2. 方法(1):雨水、直射日光、低温(0℃以下)、高温(40℃以上)・多湿、潮風を避けて保管してください。
(2):凍結に注意して保管してください。一度凍ってしまった塗料は使用できません。
3. 事故防止:盗難、紛失、流失などの事故防止に努めてください。

ご使用の際は最新の製品情報、注意事項、SDSを必ずホームページより確認のうえ、施工をしてください。
SDSはホームページからダウンロードしてください。



お問い合わせ・ご用命は

製造販売:

みつける、こたえる、かなえる **ケミカル**
大阪ガスケミカル株式会社

☎ 0120-124-123 平日9:00~17:30
(土日祝日・その他当社休業日を除く)

FAX 06-4393-0054

ホームページ <https://www.xyladecor.jp/>

〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南2番37号
ドームシティガスビル

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目6番1号
日本橋本町プラザビル4階

提携先 AkzoNobel
キシラデコール、コンゾランはAkzoNobel社の登録商標です。

Daigas Group 大阪ガスグループは、
Daigasグループへ。

Xyladecor®
Consolan®

Xyladecor®

屋外木部用(水性・造膜タイプ)

木材保護塗料塗り(WP)

JASS 18 M-307 木材保護塗料(かび抵抗性を含む)適合品

高耐久性木材保護塗料

キシラデコール®
コンゾラン®



塗膜で木材が

明るく甦る。

※塗膜具合は環境により、必ずしもこのように仕上がる訳ではありません。

塗膜で木材を

しっかり保護する。

■兵庫県：大手会館〈町指定文化財〉

全面塗り替え後、8年経っても、部分的なハガレと汚れはあるものの、塗膜はしっかりと木材に密着し、美しい外観が保たれています。



コンゾラン塗装前



コンゾラン塗装直後



コンゾラン塗装8年後

キシラデコール® コンゾラン®



14kg/3.5kg 缶

「強さ」と「美しさ」のキシラデコール® コンゾラン®



14kg/3.5kg 缶

塗膜が長持ち。

塗膜を形成し木材を守る造膜系塗料は、雨や日光の影響により、通常、ワレやハガレが数年で発生し、劣化してしまいます。そこで、キシラデコールコンゾランは塗膜の質を徹底的に追求。ワレやハガレが生じにくい塗料を実現しました。

優れた
柔軟性

木材は気温や湿度によりわずかに伸縮します。それに対応できる柔軟性を塗膜に持たせました。

ワレが発生

木材のわずかな伸縮

柔軟性のない塗装

塗膜も伸縮

木材のわずかな伸縮

キシラデコールコンゾラン塗装

優れた
通気性

塗膜に通気性を持たせました。木材中の余分な水分を水蒸気として外に逃がし、ムレにくくします。

木材中の水分により塗膜がムレ、劣化

柔軟性のない塗装

木材中の水分を外へ拡散

キシラデコールコンゾラン塗装

優れた
密着性

塗膜の密着性を高めました。木の表面にしっかりと食い込むため、フクレが起きにくい塗膜を形成します。

時間経過につれフクレが発生

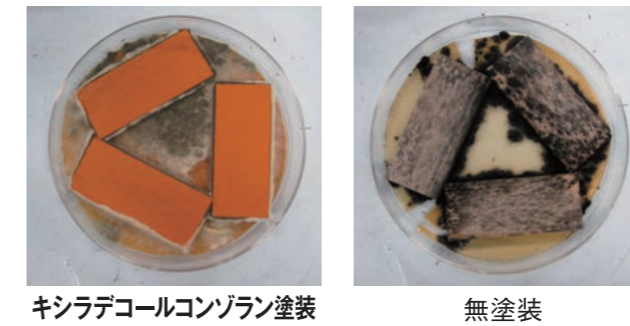
柔軟性のない塗装

木材に塗膜がしっかりと密着

キシラデコールコンゾラン塗装

防腐・防カビ・防虫効果。

キシラデコールと同様に、防腐・防カビ・防虫剤を添加。木材保護塗料塗り(WP)として、JASS 18 M-307 木材保護塗料(かび抵抗性を含む)に適合しています。



防カビ試験
 【方法】(公社)日本木材保存協会規格 第2号 1992 木材用防カビ効力試験方法を参考に試験を実施。
 2×5cmのブナ木片に130g/m²のキシラデコールコンゾランを塗装。それらと無処理木片を滅菌し、有機寒天培地に乗せ、下記の3種混合菌を吹き付けて、26℃で10日間培養。
 使用した菌：Cladosporium cladosporioides, Aureobasidium pullulans, Chaetomium globosum

基本カラー20色。

木の風合いを活かす豊富なナチュラルカラー。レッドやグリーンを調色用に取り揃えた20色のバリエーション。2色以上混合してお好みの色を作ることができます。

◎基本色

#522 べんがら NEW	#523 朱色 NEW	#502 ピニー	#503 チーク	#505 カスタニ	#506 タンネングリーン	#507 マホガニ
#508 バリサンダ	#509 シルバグレイ	#510 オリーブ	#511 ウォルナット	#512 ジェットブラック	#514 ワイス	#515 スプルース
#550 プリアントイエロー	#551 レッド	#552 ブルー	#553 グリーン	#554 ライトアイボリー	#555 ダークブラウン	下塗り剤無色(吸込み止め)

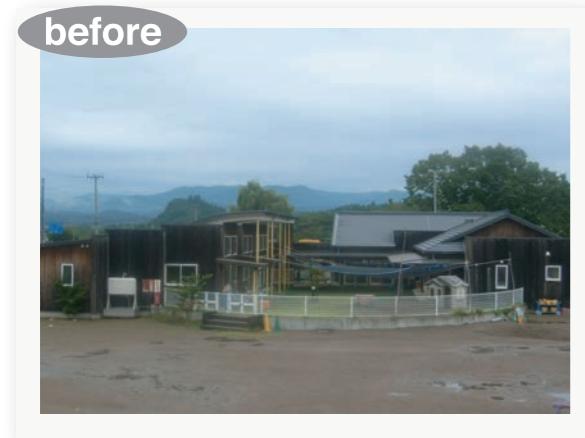
※この色見本は印刷物ですので、実物とは多少異なります。詳しくは塗装見本をご参照ください。

キシラデコール® コンゾラン® 下塗り剤 過剰な吸い込みムラ防止(防腐・防カビ)



14kg/3.5kg 缶

住宅から、文化遺産まで。



特徴

- ◎屋外専用の木材保護塗料（高耐久性・水性・造膜タイプ）
- ◎塗膜に柔軟性がありワレにくい
- ◎塗膜に通気性があるためムレにくい
- ◎塗膜が木に密着してフクレにくい
- ◎優れた防腐・防カビ・防虫効果を発揮※
- ◎色つきが良く、古材でも明るく仕上げることができ、改修に最適です。
- ◎油性キシラデコールと同色系をラインアップ、木材色を充実

※防虫の対象はヒラタキクイムシなどの木材害虫です。シロアリ、アリ、ハチなどは対象外です。
※立地条件や周辺環境、建物の構造などにより、早期に塗装面の退色・変色ならびにカビ、木材害虫、木材腐朽菌などによる汚染、加害を生じる場合があります。効果を保証するものではありません。

容量

3.5kg、14kg缶

用途

屋外木部用／羽目板・下見板・破風・窓枠・門扉・戸袋・窓格子・雨戸・鼻かくし・フェンス・ルーバー・パーゴラ・ガーデンファニチャー・ログ材・木橋の高欄・ドア・軒天・ラティス・ウッドプランター・木柵など

※人が歩行する面や摩擦が生じる面では塗膜が剥がれるおそれがありますので使用しないでください。

安全性

キシラデコールコンゾランの毒性データ（無機顔料を含まないものとして）

急性経口毒性(ラット)	LD ₅₀ > 2000mg/kg ※
急性経皮毒性(ラット)	LD ₅₀ > 2000mg/kg ※
眼刺激性(ウサギ)	刺激性なし
皮膚刺激性(ウサギ)	刺激性なし
皮膚感受性(モルモット)	無し(ビューラー法、LLNA法)

※動物愛護の観点から最近では急性経口・急性経皮毒性とも最大2000mg/kgまでの試験となっています。
毒物および劇物取締法では、経口は300mg/kg、経皮は1000mg/kgを超える場合は毒劇物に非該当です。

木材保護塗料塗り(WP) ※WP=Wood Preservatives Stain

JASS 18 M-307 木材保護塗料(かび抵抗性を含む)適合品／公的試験機関(一財)日本塗料検査協会による試験結果報告書に基づく

(一社)日本建築学会「建築工事標準仕様書」 国土交通省「公共建築工事標準仕様書」

国土交通省「公共建築改修工事標準仕様書」 国土交通省「公共建築木造工事標準仕様書」

- ・公共建築工事で「木材保護塗料塗り(WP)」が指定された際には、請負契約時に特記仕様書への記載が必要であり、「JASS 18 M-307 木材保護塗料(かび抵抗性を含む)適合品」を用いることが条件となっています。
- ・キシラデコールコンゾランは、「JASS 18 M-307 木材保護塗料(かび抵抗性を含む)適合品」ですので、公共建築物から一般住宅の施工まで、安心してお使いいただけます。

標準塗装仕様

◎素地・下地調整

塗装面の状態	処理方法	材料・用具※3	備考
新しい木材	ごみ、ほこりなどを除去し、清掃する	サンドペーパー・ブラシ・ポロ布	・塗装時の木材含水率は18%以下
ヤニや油分の多い木材	表面のヤニや油分を拭き取る	ラッカーシンナー・アルコール	・スチールブラシは鉄汚染の原因となるため使用不可
キシラデコール塗装面(含浸形塗料塗装面 ※1)	表面のごみ、汚れ、変色やぜい弱層を除去し、清掃する	サンドペーパー・ブラシ・ポロ布 皮スキ・漂白剤、塗膜剥離剤・ 低圧または高圧洗浄	・釘頭や木ねじはサビ止めをする
キシラデコールコンゾラン塗装面(コンゾラン塗装面)	旧塗膜を除去し、表面のごみ、汚れ、変色やぜい弱層を除去し清掃する ※2		・毛羽をサンドペーパーで平滑にし清掃する
造膜形塗料塗装面			・パテ、埋木などで補修をした場合は、サンドペーパーで平滑にし清掃する

※1 含浸形塗料塗装面であっても、キシラデコールコンゾランの浸透や密着を妨げる場合は旧塗膜の除去が必要です。

※2 旧塗膜を除去せず塗装した場合は、旧塗膜の剥離に追従して上塗り塗料のキシラデコールコンゾランが剥がれることがあります。塗膜の除去作業後、旧塗膜が残った場合は、キシラデコールコンゾランとの密着性を向上させるため、粗目のサンドペーパー(P120～220)で目荒らしてから塗装してください。

※3 材料や用具は、下地の状態に応じお選びください。

◎キシラデコールコンゾラン標準塗装仕様

工程	塗料	使用方法	標準使用量	塗り重ね乾燥時間	備考
下塗り 上塗り	キシラデコールコンゾラン(各色)	ハケ又はローラー塗り(スプレー塗装不可)(2～3回塗り)	0.15～0.25kg/㎡ (4～6.6㎡/kg) (2～3回塗りの合計量)	1～2時間	乾燥は約2時間

※既設で吸い込みが多い古材への塗装は、塗装回数が3回以上、あるいは使用量が0.25kg/㎡以上になる場合があります。吸込みが激しく、着色ムラや着色不足となる場合には、キシラデコールコンゾラン下塗り剤をご使用ください。

- 1) 標準使用量は、被塗材の種類(新材・古材)、樹種(針葉樹・広葉樹など)、塗装面、含水率、材のひび割れなどで異なる場合があります。
- 2) 塗り重ね乾燥時間は、気温20℃、湿度65%、木材含水率18%の条件を示します。
- 3) 以下の場合は乾燥遅延を起こすことがありますので、ご注意ください。
湿度が高い場合、低温の場合、塗布量が多すぎる場合、下塗りが未乾燥のうちに重ね塗りした場合、塗料が浸透しにくい木材に塗装した場合、換気が不十分な場合。
乾燥が不十分な場合には、降雨などによって塗料が流れ落ちる可能性がありますのでご注意ください。塗装後未乾燥のうちに降雨が予想される場合は、塗装箇所に応じた適切な養生をしてください。
- 4) キシラデコールコンゾランのレッド(#551)やプリリアントイエロー(#550)、朱色(#523)を塗装する場合、下地が透けることがありますので、下塗りにワイス(#514)を塗装することをおすすめします。(上塗り後にワイスが透ける場合は、上塗り塗装回数を増やしてください。)
- 5) ローラーの種類によって塗装面に泡が発生しやすい場合がありますので、試し塗りによりご確認ください。
- 6) デッキなどの水平面塗装不可

◎キシラデコールコンゾラン下塗り剤標準塗装仕様

工程	塗料	使用方法	標準使用量	塗り重ね乾燥時間	備考
下塗り	キシラデコールコンゾラン下塗り剤	ハケ又はローラー塗り(スプレー塗装不可)(1回塗り)	0.07～0.11kg/㎡ (9～14㎡/kg) (1回塗り)	1～2時間	乾燥は約2時間

※吸い込みの状態によっては、使用量が0.11kg/㎡以上になる場合があります。

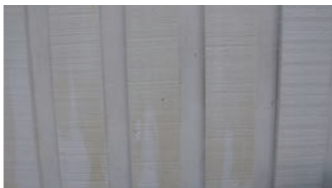
- 1) キシラデコールコンゾラン下塗り剤は古材の塗装時に過剰な吸い込みムラ防止(防腐・防カビ)としてご使用ください。
- 2) ローラーの種類によって塗装面に泡が発生しやすい場合がありますので、試し塗りによりご確認ください。

造膜タイプ塗装面の塗替え時注意

- ・旧塗膜及び塗装面の汚れ(ごみ、ほこり、カビ、コケなどの汚れ)を除去し、上からキシラデコールコンゾランを2～3回塗りしてください。
- ・旧塗膜を残したままキシラデコールコンゾランを塗装すると、ワレやハガレなどの原因となることがあります。
- ・塗膜はサンダーや皮スキなどで除去し、清掃後標準塗装仕様で塗装してください。
- ・カビの発生している箇所はカビを除去してよく水洗いした後、十分乾燥させてから2～3回塗りしてください。
- ・塗膜の除去作業後、やむをえず旧塗膜が残った場合は、キシラデコールコンゾランの密着性を向上させるため、粗めのサンドペーパーで目荒らしてから塗装してください。
- ・旧塗膜との密着性を確認するため、試し塗りを行ってください。ただし、本作業は旧塗膜とキシラデコールコンゾランの密着性向上を目的とするものであり、旧塗膜の劣化に伴うキシラデコールコンゾランのワレやハガレを防ぐものではありません。また、全てのケースで旧塗膜とキシラデコールコンゾランの密着性向上を保証するものでもありません。

シミ・ヤニへの注意 (詳しくは〔P11 塗装上の注意 5.〕をお読みください)

キシラデコールコンゾランの塗膜は通気性があるため、下記事例が起こることがあります。内容をご理解の上、塗装の可否をご判断ください。



・シミの事例

新材やベンキなど通気性のない塗料からの塗り替えでは、樹液成分やアクの析出によるシミが発生する場合がありますので、淡色系での塗装はお控えください。シミが目立ちにくい茶褐色系での塗装をご検討ください。



・ヤニの事例

ヤニが多いマツ系の心材ではヤニが染み出すことがあります。塗装前にアルコールなどで拭いてから塗装してください。また塗装後も塗膜上にヤニが染み出た場合は、早期であれば中性洗剤などで拭き取ってください。

キシラデコール コンゾラン® Q&A



Q1 キシラデコールコンゾランとコンゾランとの違いは何ですか？

A1 キシラデコールコンゾランは防腐・防カビ・防虫剤を添加し、木材保護塗料塗り(WP) JASS 18 M-307 木材保護塗料(かび抵抗性を含む)適合品の業務用です。また、木材色彩(油性キシラデコールと同色系)の充実したカラーバリエーションにしました。コンゾラン(家庭用)には防腐・防カビ・防虫剤ははいていません。また、色調も異なりますので、弊社webの「色調比較」をご参照ください。http://www.xyladecor.jp/products/xyladecor_consolan.html

Q2 キシラデコールコンゾランのピニー(#502)とキシラデコールのピニー(#102)は同じ色でしょうか。

A2 従来のキシラデコールと同じ名前が使われていますが、顔料や樹脂などの塗料組成が異なっているため、油性のキシラデコールとは多少異なった色に仕上がります。

Q3 コンゾランを購入したいのですが。

A3 長年ご愛顧を頂いたコンゾラン(業務用)は、2013年3月末をもって終売とさせて頂きました。今後はコンゾラン後継品のキシラデコールコンゾランをご愛顧頂ければ幸いです。また、中身が同じコンゾラン(家庭用)は従来通り、ホームセンターなどで販売しています。

Q4 キシラデコールコンゾランについて、塗料原液の色と仕上がりの色は同じですか？

A4 原液の色と乾燥後の色は異なります。事前に試し塗りで仕上げ、色合いなどを確認してから塗装に入ってください。

Q5 南洋産の硬い木材へのキシラデコールコンゾランの塗装は可能ですか？

A5 硬質材(イペ、チーク、ジャラ、ウリンなどの南洋材系堅木)は、高密度であり樹脂成分が木材繊維に密着しにくいいため、早期に塗膜剥離が生じる可能性があります。

キシラデコール コンゾラン® 下塗り剤 Q&A



Q1 下塗り剤の効果は何ですか？

A1 下塗り剤の効果は古い木材における過剰な吸込みムラ防止です。なお、キシラデコールコンゾランと同等の防腐・防カビ効果もあります。

Q2 下塗り剤はどのような材に使用すれば良いですか？

A2 古材などで塗料を過剰に吸い込む場合にお使いください。

Q3 下塗り剤を使用しなかった場合、効果は異なりますか？

A3 理論的には下塗り剤はキシラデコールコンゾランより粘度が低く、古い木材への吸い込みも良いので、ムラ抑制効果が期待できます。ただし、木材や使用される塗料の色により効果は異なりますので、試し塗りによりご確認ください。

Q4 下塗り剤は単独で使用できますか？

A4 下塗り剤には紫外線を防ぐ効果がないことから、単独での使用は避けてください。

Q5 下塗り剤にヤニ止めの効果はありますか？

A5 ありません。過剰な吸込みムラ防止です。

Q6 キシラデコールやコンゾラン(家庭用)の下塗り剤に使用しても良いですか？

A6 コンゾラン(家庭用)の下塗り剤としては使用可能ですが、コンゾラン(家庭用)には防腐・防カビ・防虫剤が入っていないのでご注意ください。キシラデコールを含む他の塗料の下塗り剤には使用しないでください。

Q7 キシラデコールコンゾラン下塗り剤とキシラデコールコンゾランを混合して使用してもよいでしょうか？

A7 耐候性が低下するため、下塗り剤とキシラデコールコンゾランを混合しての使用は避けてください。

■ 塗装上の注意

キシラデコール コンゾラン®

- 缶を逆さまにしてよく振り、ふたを外して棒などで缶の底までよくかき混ぜ、うすめずにそのままお使いください。使用前も使用中もよくかき混ぜ、中身を均一な状態にして使用してください。
- 原液の色と乾燥後の色は異なります。事前に必ず試し塗りで仕上げ、色合いなどを確認してから塗装してください。
- ペンキ、ニス、ワックス、サンディングシーラーなどの旧塗膜が残っていると密着不良を起こすことがありますので、サンドペーパーなどで塗膜を除去してから塗装してください。塗膜の除去作業後、旧塗膜が残った場合は、キシラデコールコンゾランとの密着性を向上させるため、粗目のサンドペーパー(P120~220)で目荒らしてから塗装してください。
- 硬質材(イペ、チーク、ジャラ、ウリンなどの南洋材系堅木)は、高密度であり樹脂成分が密着しにくいいため、早期に塗膜剥離が生じる可能性があります。
- ヤニ、タンニンなどの樹脂成分やアクなどで汚れた木材は、塗膜の変色や密着不良を引き起こす可能性があるため、必ず中性洗剤やアルコールなどで拭き取ってから塗装してください。また、キシラデコールコンゾランの塗膜は通気性があるため、時間とともに、樹脂成分やアクが塗膜表面に染み出てくる場合があります。早期であれば、中性洗剤などで拭き取り除去できますが、時間が経過したり、また広範囲な汚染については完全には除去できません。樹脂成分やアクの多い木材については、本内容をご理解の上、塗装の可否をご判断ください。
- 雨天の日、多湿時(相対湿度 85%以上)、または低温時(5℃以下)の塗装はお控えください。
- 雨水や積雪などにより水分が滞留しやすい部位は、比較的短期間に塗膜が劣化する場合があります。
- 下塗り剤として他社品のシーラー、プライマー、砥の粉などの塗装は、塗膜剥離の原因となりますのでお避けください。
- 古い木材などで吸込みが激しく、着色ムラや着色不足となる場合には、キシラデコールコンゾラン下塗り剤をご使用ください。
- キシラデコールコンゾランの上からニスなどを塗ってつやを出すことはお避けください。
- 防腐、難燃、準不燃、不燃などの加圧注入処理木材は、薬剤の析出、塗料のはじき、塗膜の汚染や密着不良などのおそれがあるため、また熱処理材は密着不良をおこすおそれがありますので塗装はお避けください。
- キシラデコールコンゾランを塗装した塗装面どうしが触れると接着することがありますので、積み重ねは絶対にお避けください。ドアや窓の開閉部には、エアゾールタイプのシリコンスプレーを塗布して頂くと、塗装面どうしの接着を軽減することができます。
- 人が歩行する面や摩擦が生じる面では塗膜が剥がれるおそれがありますので使用しないでください。
- 5~8年を目安に塗り替えを行ってください。ただし、建物の立地条件、とくに気候と地形によって塗り替え時期は異なってきます。
- 本製品は屋外木部用です。屋内木部への塗装はお控えください。屋内木部に塗装する場合は、姉妹品の「キシラデコールインテリアファイン」をご使用ください。

キシラデコール コンゾラン® 下塗り剤

- よく攪拌してください。
- うすめずにそのままお使いください。ただし、塗料の粘度が高く塗りにくい時は、3~5%の水でうすめてください。うすめた場合はその日のうちに使いきってください。
- 塗料は類白色ですが塗装後は透明になります。
- ペンキ、ニス、ワックスなどの旧塗膜が残っている場合はサンダーか皮スキなどで取り除いてください。表面のヤニは塗料用シンナーなどで取り除いてください。
- キシラデコールコンゾラン下塗り剤とキシラデコールコンゾランを混合して使用することは、耐候性が低下するためにお避けください。
- キシラデコールコンゾラン下塗り剤の単独使用は避けてください。
- 新しい材は木の表面が高密度なため、標準使用量が塗布できない場合があります。そのため塗装面の劣化が早くなる可能性がありますので、木の表面をサンドペーパーなどで研摩し、塗布量を増やすか、早めにメンテナンスを行ってください。
- 雨天の日、多湿時(相対湿度 85%以上)、または低温時(5℃以下)の塗装はお控えください。
- キシラデコールコンゾラン下塗り剤が未乾燥のうちにキシラデコールコンゾランを重ね塗りすると、乾燥遅延を起こすことがありますのでご注意ください。
- キシラデコールコンゾラン下塗り剤にはキシラデコールコンゾランと同じレベルの防腐・防カビ剤が配合されています。
- 本製品は屋外木部用です。屋内木部への塗装はお控えください。屋内木部に塗装する場合は、姉妹品の「キシラデコールインテリアファイン」をご使用ください。